

インターンシップで6人の学生・生徒来院

城西病院の夏休みインターンシップの第2弾が8月7日、開かれました。今回は、真壁准看護専門学校の学生2人と結城一高、八千代高、古河一高の生徒4人の計6人が参加しました。

6人はまず、オリエンテーションで病院の概要や看護部の仕組みなどを聴き、病院内を見学。透析センターや城西総合健診センター、手術室などを見学しました。手術室では患者体験。手術台に寝て、手術台を上下動したり、傾けたりして、実際の手術でどう使用しているのかを解説。手洗いの仕方なども学びました。

午後からは内科系病棟と外科系病棟に分かれて体験。高校生は外科病棟で、看護師がどのような機材を使って仕事をしているのかを教えてもらったり、ベッドからストレッチャーへの移乗、車いす体験などを行いました。高校生たちはほとんどが初めての体験で、看護師に熱心に質問。体験後は若手看護師を交えて意見交換会を行い、参加者から「看護師になるための勉強は何が一番厳しかったですか」「実際の仕事で嬉しかったことは？」など質問し、熱心に意見交換をしていました。

2019年8月7日

